

「課題解決を目指して」

教育本部長 松本 徹



2015シーズンは日本スキー教程の全面改訂を受けて、新たな視点での技術指導を展開することになり、研修会テーマを「パラレルターンの指導の展開・ターンの制御」として決定しました。

これまでは、2年に1回の研修会参加でも良かったのですが、昨年からは毎年参加を奨励し、研修会参加者が大幅に増えました。結果として新しい教程の理解が時間をかけずに深まっていくものと思います。

新しい教程は、基礎から競技まで幅広いスキー技術の基本となる部分を重要視して、教育本部ばかりでなく、競技本部の知恵も借りながら作成されたものであり、一貫した技術指導が進められるものと思います。

北海道のスキー指導に携わる皆さんが、新しい教程を持ってスキーの普及発展に努力されることをお願いしたいと思います。

私たち教育本部の使命は、スキーを含むスノースポーツの普及発展であり、その具体的内容はスキー場に足を運ぶスキーヤーが増加することです。そして、安全確実に楽しむことが出来る環境を整えることです。

地域での活動は道連傘下の加盟団体やスキー学校が中心となっておりますが、教育本部としては地区連から推薦された技術員を中心に、指導者がまとまって地域におけるスノースポーツの普及活動に貢献したいと考えております。また、スキー学校とはスキー学校協会との協力関係を蜜にしてお互いの発展を目指したいと考えております。

教育本部も含めスキー界全体の課題は、スキーヤーを増やしスキー場をかつてのように賑やかにすることであり、北海道民の冬季における心身の健康増進を図ることです。



従来、課題となっていた子供たちの体力低下問題を解決するために、文部科学省は体育の時間を増やし、北海道ではスキー授業を増やす学校が増えています。このチャンスを逃すことなく、子供たちをスキー好きにさせるために私たちが果たさなければならない使命は重大であり、教育本部の2015シーズンの活動方針に基づきこの課題解決のために全力を尽くす覚悟です。



今シーズンが素晴らしいシーズンになることを祈念して教育本部の報告とします。